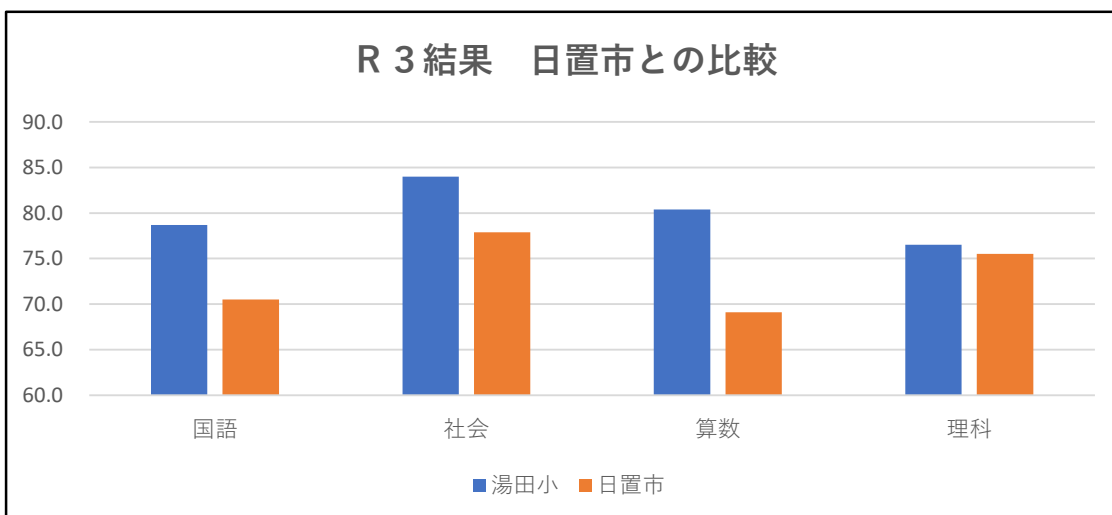
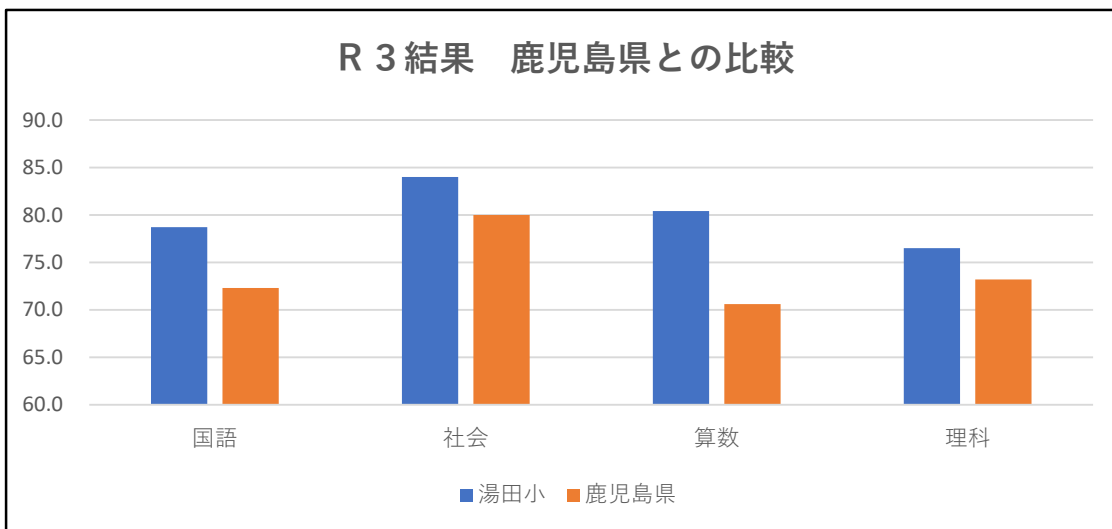
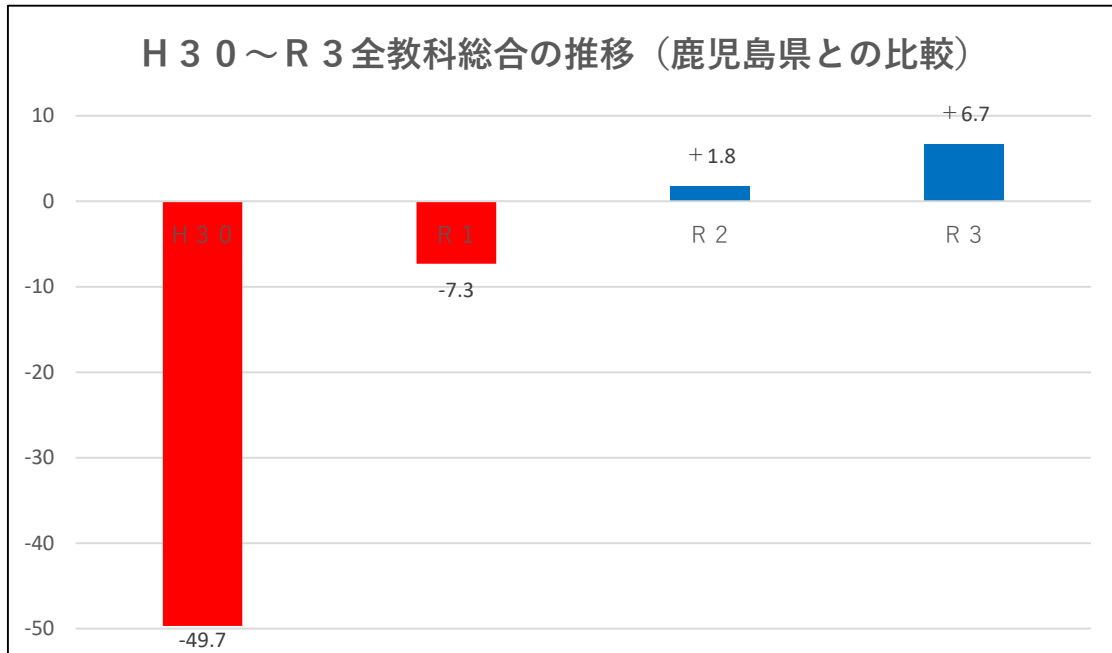


# 鹿児島学習定着度調査についての本校の結果

日置市立湯田小学校



### R3 鹿児島学習定着度調査分析(国語科)

平均通過率		内容・領域別通過率		観点別通過率	
78.70%		話すこと・聞くこと	65.5	基礎・基本	81.9
		書くこと	△53.6	思考・表現	73.2
基礎・基本通過率	思考・表現通過率	読むこと	83.9		
81.90%	73.20%	伝国に関する事項	81.9		
対策・具体的取組					
<p>○発達段階に応じて文章形態や文章の書き方を具体的に指導して、書くことへの抵抗をなくしていく。</p> <p>○条件を設け、それに合った文章を書かせるようにする。</p> <p>○日常の読書指導を充実させてさまざまな言葉や文章に触れさせるとともに、叙述に即して心情を読み取る力を育てる。</p> <p>○新聞等を教材にした課題も取り扱っていき、長文を速く正確に読み、必要な情報を的確に捉える力を育てる。</p> <p>○社会科での資料活用学習とも関連させながら、複数の資料から情報を読み取り、自分の考えをもつという学習体験を増やす。</p>					

### 鹿児島学習定着度調査分析(社会科)

平均通過率		内容・領域別通過率		観点別通過率	
84.0		国土の様子	79.9	基礎・基本	84.5
		農業	82.7	思考・表現	82.9
基礎・基本通過率	思考・表現通過率	水産業	81.3		
84.5	82.9	工業	91.7		
		運輸・貿易	87.5		
対策・具体的取組					
<p>どの設問も概ね8割を超える正答率で、基礎基本が身に付いていると言える。一方で、『各都市の雨温図を比べ、新潟県を選びその理由を答える問題(正答率:60.7%)』『農家が米作りの工夫や生産の様子を公開しているウェブサイトと、米の消費量の変化のグラフの2つを関連付けてなぜこのような取り組みが行われているのか理由を記述する問題(正答率:53.6%)』の2つが正答率が低かった。また、誤答は片方だけの図に言及するものが多く、双方の資料が結びついていない記述が見られた。学習活動では複数の資料がどのように関連しているのか、また、関連しているものであれば、社会科だけでなく他の教科との結びつきを意識した指導が有効だと思われる。</p>					

### 鹿児島学習定着度調査分析(算数科)

平均通過率		内容・領域別通過率		観点別通過率	
80.40%		数と計算	91.1	基礎・基本	85.7
		図形	76.8	思考・表現	69.6
基礎・基本通過率	思考・表現通過率	測定	66.1		
85.70%	69.60%	データの活用	80.1		
対策・具体的取組					
<p>基礎・基本通過率85.7と一定の結果は残せていると言える。特に「数と計算」の領域は91.1と指導の効果が出ている。</p> <p>思考・表現の領域では、自分の思考の過程を順序立てて、論理的に文章で表現できない児童が25%くらい存在する。このことから今後、授業の中で自分の思考の過程を順序良く説明する経験を数多くさせていこうと思う。(全校的に、つなぎ言葉を使って自分の考えを説明する場面を増やしていく必要性を感じる。)また、問題で問われていることを資料から念頭で読み取る力をつけていく必要がある。</p>					

### 鹿児島学習定着度調査分析(理科)

平均通過率		内容・領域別通過率		観点別通過率	
76.5		物質・エネルギー	89.6	基礎・基本	85.1
		生命・地球	62.1	思考・表現	65.1
基礎・基本通過率	思考・表現通過率				
85.1	65.1				
対策・具体的取組					
<p>○ 実験を行う際の条件制御に関する間違いが見られた。調べる条件以外を揃えて実験することやその方法を理解させ、子どもたちに考えさせるようにする。</p> <p>○ 理科の基本的な用語や事象を正しく理解させる。(雄花とおしべの違い、方位、雲の動きなど)</p> <p>○ 事象については理解できていると思われるが、言葉が足りなかったりうまく表現できていない様子が見られた。理由などを説明する際に大事な言葉を抑えて表現する力をつける必要がある。</p>					